

令和6年11月7日

予防医療を中核とした新規事業チームの発足

～地域と企業が手を取り合う・みんなで健康プロジェクト～

◆発表のポイント

- ・岡山西部地域における予防医療の拠点機能を強化するため、倉敷中央病院附属予防医療プラザに新規事業チームが発足しました。
- ・主な取り組みとして、①企業向けの出張健康支援プログラム、②健診施設内での運動教室・健康教室の充実、③生活改善プログラム(個別支援)の拡充、④他企業とのコラボレーションなどを予定しています。
- ・地域の企業や住民の生活習慣や運動習慣の改善を支援し、皆様がより良い毎日を過ごせるようサポートすることを目指しています。

倉敷中央病院附属予防医療プラザは、地域住民の健康維持・促進を目的に、2019年6月に開設されました。5周年を迎えた2024年6月には、さらなる貢献を目指し、新規事業チームを発足しました。このチームでは、健康診断後に見つかった健康課題に対し、適切な対策を提供するための取り組みを進めています。

まず1つ目として、企業向けの「出張健康支援プログラム」を開始し、健康経営をサポートします。2つ目は、健診施設内で気軽に運動や健康について学べる「運動・健康教室」の拡充です。3つ目は、個別に運動や栄養の支援を受けられる「パーソナルトレーニング・個別支援」の充実を図ります。4つ目は、倉敷・岡山・中四国地方を「予防医療先進地域」にするため、地元企業と協力し、新たなヘルスケアサービスや商品の開発を進めます。

活気あふれる未来に向けて、予防医療を通じて地域の健康課題を解決し、健康的な地域社会の実現を目指します。

◆新規事業チーム代表からのひとこと

新規事業チームでは、健康診断で見つかった個々の課題に対し、生活習慣の改善をサポートする取り組みを行います。

生活習慣病の予防には特効薬はなく、運動や食事の改善が重要ですが、それを実践するのは簡単ではありません。そこで、地域住民や企業に寄り添い、心と体の健康を支えるサポートを提供します。

この取り組みを通じて、地域全体の健康増進を図り、予防医療の先進地域を目指します。ぜひお気軽にご利用・お問い合わせください。



木口賀之医師

◆発表内容

<現状分析>

予防医療プラザ設立から5年が経過し、地域社会および受診者に提供する健康診断体制は整備されつつある。特に、先制医療オプション検査(遺伝子検査など)は国内でも有数の実績を誇り、保険適用外の先進的な検査も実施可能となっている。しかし、検査後に推奨される生活改善や運動支援は特定保健指導を除いて対応が不足しており、その充実が課題である。地域社会に対するさらなる健康サービスの提供を目指し、生活改善や運動支援を強化するため、新規事業チームを発足した。

<企画の目的>

地域住民や受診者(企業職員を含む)に対し、疾病予防と健康維持のための生活習慣改善サービスを提供することを目的とする。特に、運動実施率は現状の25%から40%を目指し、運動支援プログラムの充実を図る。

<企画の内容>

① 地域企業向けの出張健康支援プログラム(企業支援)

地域企業の健康経営をサポートする従業員向けの健康支援を強化する。※補助金活用なども必要に応じ相談・サポートする。

② 運動教室・健康教室(集団支援)の充実

プログラム数の増加や外部講師の導入により、地域住民が参加しやすい運動・健康教室を提供する。

③ 生活改善プログラム(個別支援)の拡充

パーソナルトレーニングや個別面談を通じて、個々に対応した生活改善支援を充実させる。

④ 他企業・団体とのコラボレーション

運動服のリースや健康服の開発、サプリメントや健康食品、アプリケーションの共同開発、イベント開催など、外部企業・団体との連携を推進する。

<得られる効果>

- ・運動量の増加と、それに伴う生活習慣病、フレイル、メンタルヘルスなどの改善による疾病予防効果が期待される。
- ・企業の健康経営支援という新たな価値を提供する。
- ・外部企業との連携により、新たな視点で地域産業の振興に貢献できる。

<今後の展開>

- ・2024年度中に枠組みを確立し、来年度以降充実したサービスを提供する。
- ・健診受診者のうち運動習慣がない方に対し、パンフレットやウェブサイトを活用して啓発活動を行う。
- ・支援策をパッケージ化し、他の近隣医療施設でも実施可能なプログラムを作成する。
- ・外部講師や企業と意見交換を行うことで支援の充実を加速する。

◆補足・用語説明

健康経営：

企業が従業員の健康管理を経営戦略に取り入れ、健康促進を図る取り組みです。これにより生産性向上や医療費削減を目指し、従業員の心身の健康維持と企業の持続的成長を支援します。

先制医療：

遺伝情報や生活習慣などを基に、病気のリスクを予測し、発症前に予防や早期対応を行う医療です。これにより、重症化を防ぎ、個別化された健康管理が可能になります。

予防医療分野での地域エコシステム：

医療機関、企業、自治体などが連携し、地域住民に予防医療や健康促進サービスを提供する仕組みです。健康課題の早期発見と予防を目指します。

運動実施率：

一定期間内に定期的に運動を行っている人の割合を示す指標です。健康状態の評価や、生活習慣病予防のための運動習慣の浸透度を測るために用いられ、地域や国の健康施策の効果を確認するのに役立ちます。

【連絡先・お問い合わせ先】

公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構
倉敷中央病院附属予防医療プラザ

予防医療科 医長

担当者名：木口 賀之

電話番号：086-422-6800(代表)

050-1721-3825(AI電話専用ダイヤル)

メールアドレス：yk17847@kchnet.or.jp